

## 卓球人脈開拓物語？

東工大 1981 年卒の勢藤陽子です。出身は大阪府、「リケジョのハシリ」です。東工大という男子校に進学してしまい、陸上競技から卓球に転向。女子団体が成立する訳もなく、大学では卓球の基礎を叩き込まれました。

1983 年に当時の三菱化成(現三菱ケミカル)に入社、横浜市青葉区の総合研究所、体育館等の福利厚生施設が充実しており、始業前の朝練、昼休み(作業服の下は卓球ユニフォーム、チャイムと同時に体育館まで走る!)、という環境で卓球実力は伸びたと思います。

1997 年(39 歳)に岡山県水島の製造現場に転勤、当時の職場環境では、突然降ってきた女性上司に対しての現場のおっさん達は抵抗感も有ったと思いますが、スポーツ(卓球の他、課対抗駅伝大会など)も、さらに「飲み」も大好きという自然体で乗り切り(楽しみ)ました。

2000 年(42 歳)に、東京の本社に転勤となり、卓球人脈が大きく広がる事になったのは、ここからです。三菱商事や三菱電機の卓球部の組織がしっかりしており、全三菱会社対抗卓球大会も継続的に開催されており、ニコンの練習会、キリンの練習会、等々、練習会も一緒にやるようになり、対外試合(中央区、港区、品川区、等)も一緒に出ましよう、という形で発展してきました。なぜか、三井グループの方も、紛れ込んできて、私も全三井卓球大会に出たりしましたが。

その一方で、東工大卓球部のOB会も、東卓リーグだけは毎年欠かさず団体参加をしていましたが、2005 年全国国公立OB大会に、シニアブロックに東工大チームで初めて出場して優勝！

三菱グループ(三井も住友も芙蓉も)各社の本社地区の卓球部、国公立大学卓球部出身者が多いこともあり(過半に近い?)、懇親会では、一気に縦横の繋がりが判明し、その後、卓球人脈は、その繋がりで、どんどん(收拾つかない程に)膨らんで行ったという訳です。

ところで、私自身は、関西人で、大阪に実家があり、全国各地への出張が多かった事もあり、親の家を便利な出張宿として活用していたのですが、関西には、三菱電機、三菱重工、の製造拠点の卓球部があり、また、阪大や京大の卓球部 OB 練習会など、時々開催されていて、顔を出していました。そのような状況下で、約10年前に、両親とも亡くなり、この「便利な実家」を相続、東京にも家がありますし、そこで、「二拠点居住して、両方の卓球イベントに参加すれば、人生を二倍、楽しめるではないか！」という発想にたどり着きました。南海トラフ地震も、首都圏直下地震も、富士山噴火しても、拠点が二か所あれば万全だし、という理屈も付けて。と、なれば、関西での卓球環境も、関東での環境と同様になれば、という野望が芽生え、東京で全三菱の卓球大会が有るのなら、関西で全三菱卓球手大会も有っても良いと考えました。三菱グループは、製造業の場合は、全国に生産拠点が有り、転勤してもそこで卓球を続ける事が可能で、各社場所対抗戦などもあり、人脈も繋がっているのですが、非製造業の場合は地方の支店などに転勤したらそれっきりの事が多く、それも残念でした。この発想は、幸いにも三菱グループ各社の関西地区の方々の協力を得る事が出来、2014 年 6 月に、第一回関西全三菱卓球大会開催となりました。その後、2019 年まで毎年継続されたのですが、コロナ禍で凍結となっております(東京の全三菱大会、全国国公立OB大会と同様に)、そろそろ、かな？

「リケジョ」がきっかけで、この様な卓球人生を謳歌しているうちに、私自身、還暦も超えてしまいましたが、気が付くと卓球人脈の広さで、この先の人生も楽しく続いて行きそう！ 自らの実行力で広がった部分もありますが、実は、同様の輩は、全国どこにでも居るのですね。「同様の輩」の皆様、相乗効果で、ぜひ、繋がりましょう！ お誘いかかれば、何処でも行きますよ！

以上